

シンコー

乾燥モルタル

防水セメント

セメントに厳選された天然砂と特殊混和材、粉末防水材を適量に配合した、建築・土木・設備工事用防水セメントです。既調合タイプなので、施工現場では水練りするだけでご使用出来ます。

特長

- ★水を加えて練るだけで良質の防水モルタルが得られます。
- ★品質にバラツキがなく安定しています。
- ★使い残してもゴムバンド等で密封すると保存できます。

試験項目			試験結果	
			プレーンモルタル	防水材混入モルタル
吸水試験	吸水量 (g)	浸水後 1時間	6.06	1.56
		浸水後 5時間	8.84	2.66
		浸水後24時間	9.15	4.49
	吸水比	浸水後 1時間	—	0.257
		浸水後 5時間	—	0.301
		浸水後24時間	—	0.491
透水試験	透水圧 0.1kgf/cm ²	透水量 (g)	39.4	10.8
		透水比	—	0.274

圧縮強度 (N/mm ²) 33.1
曲げ強度 (N/mm ²) 6.13

20℃ 材令28日

試験方法 JIS A 1404 「建築用セメント防水剤の試験方法」に準ずる

荷姿10kg袋 水練容量5.8ℓ

標準施工

下地処理 防水モルタル工事に当っては先ず施工面の不良箇所の補修及び清掃を完全に行う。

- 打継部、豆板、排水孔、管回り等の箇所を綿密に点検し漏水の恐れのある箇所を深さ3~5cmにVカットし、アスファルト系コーキング材を充填、又はシンコー樹脂モルタルSで補修する。
- 下地補修後コンクリート表面に付着するレイタンス、木片、鉄線等はワイヤーブラシ、ハンマー等で完全に除去し水洗い清掃を行い施工面との接着を良くする。

屋上、ベランダ防水モルタル工法

- 屋上、ベランダの施工に当っては下地処理後、下地コンクリートとの接着をより一層強固にする為、シンケン防水剤混入のペーストを塗りつける。
- 第一層目の防水モルタルは塗り付け後金鍍で押えたのち刷毛引とする。
- 第二層目防水モルタルは下塗のモルタルの乾燥後 (2~3日経過後が最適) 施工にかかり定規摺りをしながら金鍍にて入念に押える。(化粧目地の場合は鍍目地とする)



株式会社 シンコー

本社/〒550 大阪市西区南堀江4-32-11

電話 06-541-5755代 FAX 06-541-8797

営業所/東京・明石・新潟・仙台・松山